

令和6年度

登米市水道事業会計当初予算の概要

	ページ
1. 令和6年度水道事業の主要事業及び予算について	3
2. 資本的支出財源内訳	11

宮城県登米市

1. 令和6年度水道事業の主要事業及び予算について

1 事業運営方針

水道事業は、近年の人口減少や節水機器の普及による水需要の低迷に伴う給水収益の減少に加え、施設の老朽化による更新需要の増大により、経営状況は厳しさを増していることから、健全な経営状況を保持するため、令和5年9月に水道料金の改定を行ったところです。有収率や有効率につきましても数年前から下降傾向で目標値を下回っていることから、効率的な事業運営を図るため、より一層の漏水防止対策が求められております。

また、今後の上下水道事業の基本理念と長期的に取り組むべき経営課題に対する施策等を示すため、令和6年度から令和7年度にかけて、水道ビジョンの見直しと下水道ビジョンの策定を併せた「登米市地域上下水道ビジョン」の策定に向け取り組んでまいります。

令和6年度においては、昨年度以前から着手している基幹浄水場である保呂羽浄水場の再構築事業、基幹管路の耐震管への布設替えを図る水道管路緊急改善事業に加え、新たに重要給水施設配水管整備事業として、災害時の重要拠点となる各総合支所、主要医療機関への配水管を耐震管へ布設替えを行い、近年頻発する災害に対して、施設の強靱化と老朽施設の計画的な更新を進めてまいります。

令和6年度登米市水道事業会計の予算につきましては、保呂羽浄水場再構築事業に係る工事が始まることから、建設改良事業において、20億5,507万6千円を計上しております。

2 業務の予定量（予算第2条）

(1) 件数、水量

列	項目	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	前年度比較
1	給水件数	件	30,000	30,000	30,000	0
2	配水量	m ³	9,024,550	8,759,450	8,887,710	128,260
3	有効水量	m ³	8,297,050	7,969,140	7,902,590	△ 66,550
4	有効率（3列÷2列）	%	91.9	91.0	88.9	△ 2.1
5	有収水量	m ³	7,739,900	7,533,900	7,475,900	△ 58,000
6	有収率（5列÷2列）	%	85.8	86.0	84.1	△ 1.9
7	無収水量	m ³	557,150	435,240	426,690	△ 8,550
8	無収率（7列÷2列）	%	6.2	5.0	4.8	△ 0.2
9	無効水量	m ³	727,500	790,310	985,120	194,810
10	無効率（9列÷2列）	%	8.1	9.0	11.1	2.1

(2) 主な建設改良事業

(単位：千円)

項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	前年度比較
取水施設整備事業	0	11,000	0	△ 11,000
浄水施設整備事業	64,020	182,105	721,792	539,687
配給水施設整備事業	1,097,060	1,294,397	1,333,284	38,887
計	1,161,080	1,487,502	2,055,076	567,574

※ 詳細は「8 主な建設改良工事」参照

3 収支の状況（予算第3条・第4条）

(1) 予算規模 = 43億7,383万3千円

= 収益的支出（水道事業費用）－減価償却費＋資本的支出

(単位：千円)

項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	前年度比較
予算規模	3,571,765	3,962,832	4,373,833	411,001
収益的支出	2,721,178	2,829,848	2,733,131	△ 96,717
減価償却費	1,167,906	1,183,213	1,185,374	2,161
資本的支出	2,018,493	2,316,197	2,826,076	509,879

(2) 水道事業収益は前年度比2億8,543万円増の28億6,026万7千円、水道事業費用は前年度比9,671万7千円減の27億3,313万1千円です。資本的収入は前年度比5億247万1千円増の16億1,286万1千円、資本的支出は前年度比5億987万9千円増の28億2,607万6千円です。

(3) 令和6年度給水収益（水道料金）

給水収益は、近年の実績を基に増減率を乗じて算定しました。

近年は、石越駅前地区の給水区域への編入や、新型コロナウイルス感染予防対策など、生活習慣の変化により、一時的に小口径の家庭用使用水量の増加が見られましたが、令和3年度以降は再び減少に転じており、人口減少や節水器具の普及、社会経済情勢の影響等により、今後もこの傾向が続くものと見込んでいます。

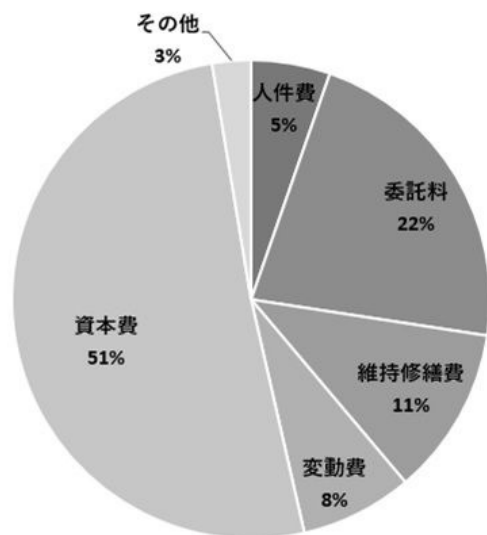
調定水量は前年度より58,000m³少ない7,423,000m³としたものの、給水収益は、令和5年度中に水道料金の改定を行ったことから、2億7,500万円増の24億7,390万円を見込んでいます。

(4) 予定損益計算書における性質別費用分析

(単位：千円)

項 目	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	前年度比較
人件費	172,664	170,446	140,493	△ 29,953
委託料	551,825	558,431	579,148	20,717
維持修繕費	292,696	312,751	299,486	△ 13,265
変動費	104,553	229,445	199,284	△ 30,161
資本費	1,409,249	1,379,527	1,337,430	△ 42,097
その他	63,393	67,827	68,774	947
計	2,594,380	2,718,427	2,624,615	△ 93,812

令和 6 年度予定損益計算書性質別費用の内訳



性質別費用分析では、資本費(減価償却費、除却費、支払利息)が全体の51%を占めています。また、人件費は5%、委託料が22%を占め業務の遂行にあたる人的費用は全体の27%となっています。維持修繕費は前年度から1ポイント減で11%となっています。変動費は動力費で水道水を作るための直接的経費であり、前年度と同率の8%となっています。水需要の変動に関わらない費用(固定的経費)がほとんどを占めています。

4 債務負担行為（予算第5条）

(1) 水道料金徴収・給水装置管理業務の概要

① 事業目的

令和2年4月から5年間の包括委託業務をしていた「水道料金徴収・給水装置管理業務」が、令和6年度末で契約終期を迎えるため、令和6年度に公募型プロポーザル方式により委託事業者を選定し、令和7年度から令和11年度までの5年間の業務委託を行うもの。

② 事業概要

ア 料金徴収業務

- ・ メーター検針及び水道料金の計算業務
- ・ 水道料金の収納業務
- ・ 水道の休止・開始等のメーター器取付け取外し業務

イ 給水装置管理業務

- ・ 給水装置工事の申請受付、しゅん工検査業務
- ・ 給水装置の窓口相談、漏水等に対する対応業務
- ・ 給水装置工事に係る各種手数料等の徴収業務

③ 事業期間 令和7年4月1日～令和12年3月31日まで

④ 事業の推進計画

項目	令和2年度～令和5年度	令和6年度	令和7年度～令和11年度
現・包括業務委託	▶		
事業者選定		▶	
契約及び委託準備期間			▶
新・包括業務委託			▶

- ⑤ 事業費 1,266,164 千円【財源内訳】 一般財源 1,266,164 千円
 令和6年度 0 千円
 令和7年度から令和11年度 1,266,164 千円【財源内訳】 一般財源 1,266,164 千円

(2) 登米市地域上下水道ビジョン策定業務の概要

① 事業目的

本市水道事業の最上位計画であり、基本理念と施策目標を定めた「登米市地域水道ビジョン」が計画期間終期を迎えるため、令和8年度から令和17年度までの10年間の次期水道ビジョンの策定を行う。また、本市下水道事業には基本理念と施策目標を定めた計画が無いことから、水道ビジョンに下水道ビジョンを加えた「登米市地域上下水道ビジョン」として策定するもの。

② 事業概要

- ・現状評価と課題の整理、分析
- ・基本理念と目標の設定
- ・実現方策と事務スケジュールの検討
- ・財政見通しの検討

③ 事業期間 令和6年4月～令和8年3月まで

④ 事業の推進計画

項目	令和6年度	令和7年度
現状評価と課題整理	▶	
基本理念と目標の設定	▶	
実現方策と事務スケジュールの検討		▶
財政見通しの検討		▶
まとめ		▶

⑤ 事業費 26,631千円【財源内訳】一般財源26,631千円

令和6年度 11,000千円 【財源内訳】一般財源11,000千円

令和7年度 15,631千円（債務負担行為） 【財源内訳】一般財源15,631千円

5 企業債（予算第6条）

（単位：千円）

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	前年度比較
取水施設整備事業	0	6,600	0	△ 6,600
浄水施設整備事業	38,100	68,400	40,100	△ 28,300
配水管整備事業	268,800	348,000	328,000	△ 20,000
配水施設整備事業	0	0	8,200	8,200
管路緊急改善事業	191,000	191,000	215,000	24,000
保呂羽浄水場再構築事業	0	0	362,200	362,200
重要給水施設配水管整備事業	0	0	34,000	34,000
計	497,900	614,000	987,500	373,500

6 職員給与費（予算第8条）

(1) 職員数

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
① 決算値		24名	24名	25名	24名（予算値）
うち	② 正規職員	24名	24名	23名	22名
	③ 再任用職員	0名	0名	1名	1名
	④ 会計年度任用職員	0名	0名	1名	1名

※ 4月1日現在の状況

(2) 職員給与費 : 1億9,137万円

(単位: 千円)

項 目		単 位	損益勘定	資本勘定	合 計	備 考
特別職	人 数	人	12	0	12	・ 上下水道事業運営審議会
	報 酬	千円	219	0	219	
一般職	人 数	人	18	6	24	・ 手当には、賞与等引当金繰入額及び退職手当組合負担金並びに退職給付引当金繰入額を含む
	給 料	千円	63,827	24,453	88,280	
	手 当	千円	56,364	18,231	74,595	
	法定福利費	千円	20,201	8,075	28,276	
一般職計		千円	140,392	50,759	191,151	
給与費合計		千円	140,611	50,759	191,370	

7 一般会計からの繰入（予算第9条ほか）

(1) 繰入金明細

(単位: 千円)

項 目	A 負担金	B 補助金	C 出資金	D 合 計
消火栓等に要する経費	32,300	0	0	32,300
児童手当に要する経費	680	0	360	1,040
基礎年金拠出金に要する経費	0	5,794	0	5,794
小規模水道施設維持管理に要する経費	0	1,350	0	1,350
統合簡易水道（東和）経費	0	425	3,261	3,686
統合簡易水道（石越）経費	0	945	15,443	16,388
統合簡易水道（横山）経費	0	1,776	18,418	20,194
災害復旧費	0	78	2,209	2,287
水道管路緊急改善事業費	0	0	152,800	152,800
計	32,980	10,368	192,491	235,839

(2) 繰入金の推移

(単位: 千円)

令和4年度	令和5年度	令和6年度	前年度比較
208,366	252,114	235,839	△ 16,275

8 主な建設改良工事

No.	事業名	目的	主な事業概要	金額 (千円)
1	浄水施設整備事業	浄水処理と水質管理の安定	<ul style="list-style-type: none"> ・保呂羽浄水場液体クロマトグラフ更新 ・錦織浄水場膜ろ過濁度計更新 ・米谷浄水場2号送水ポンプ外更新 ・大萱沢浄水場内流入弁外更新 ・大萱沢浄水場テレスコープ外更新 	67,210
2	配水管整備事業	安定給水の確保と災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・給水申し込み等による布設工事 ・老朽管更新等による布設替工事 ・他事業工事等による移設工事 	586,300
3	管路緊急改善事業	安定給水の確保と災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した基幹管路を耐震管（ダクタイル鋳鉄管）に更新し、安定給水を確保する DCIP φ500～700 L=712m （国庫補助率 1／3） 	605,000
4	機器整備事業	配給水施設の安定した運転管理等	<ul style="list-style-type: none"> ・水道メーターの更新 ・豊里ブロック配水流量計更新 ・伊貝増圧ポンプ更新 ・桑の沢増圧ポンプ更新 ・地志貝増圧ポンプ更新 	43,368
5	保呂羽浄水場再構築事業	浄水処理と水質管理の安定	<ul style="list-style-type: none"> ・保呂羽浄水場再構築事業詳細設計・工事 ・保呂羽浄水場再構築事業工事監理等支援業務 ・保呂羽浄水場再構築事業（土壌分析） 	645,775
6	重要給水施設配水管整備事業	安定給水の確保と災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・医療施設や各総合支所等の老朽化した配水管を耐震管（ダクタイル鋳鉄管）に更新し、安定給水を確保する 	55,000

2. 資本的支出財源内訳

単位：千円

事業名 (事業詳細)	令和5年度 当初予算額	令和6年度 当初予算額	左の財源内訳						
			A 企業債	B 負担金	C 補償金	D 補助金	E 出資金	F 加入金	G 留保資金
1 資本的支出	2,316,197	2,826,076	987,500	715	36,000	388,750	192,491	7,405	1,213,215
2 建設改良費	1,487,502	2,055,076	987,500	715	36,000	388,750	153,160	7,405	481,546
3 取水・浄水施設整備費	193,105	721,792	402,300	0	0	192,917	0	0	126,575
4 (1) 取水施設整備事業費	11,000	0	0	0	0	0	0	0	0
5 ①機器整備費	11,000	0	0	0	0	0	0	0	0
6 (2) 浄水施設整備事業費	182,105	721,792	402,300	0	0	192,917	0	0	126,575
7 ①浄水施設整備事業	51,535	67,210	40,100	0	0	0	0	0	27,110
8 ②保呂羽浄水場再構築事業	130,570	645,775	362,200	0	0	192,917	0	0	90,658
9 (3) 事務費(職員給与費)	0	8,106	0	0	0	0	0	0	8,106
10 (4) 事務費(その他)	0	701	0	0	0	0	0	0	701
11 配給水施設整備費	1,294,397	1,333,284	585,200	715	36,000	195,833	153,160	7,405	354,971
12 (1) 配水管整備事業費	656,117	586,300	328,000	715	36,000	0	0	7,405	214,180
13 ①配水管布設事業	64,603	23,980	13,700	715	0	0	0	7,405	2,160
14 ②配水管布設替事業	299,794	358,160	214,100	0	0	0	0	0	144,060
15 ③配水管移設事業	291,720	204,160	100,200	0	36,000	0	0	0	67,960
16 (2) 機器整備事業費	42,040	43,368	8,200	0	0	0	0	0	35,168
17 ①機器整備費	13,970	13,970	8,200	0	0	0	0	0	5,770
18 ②水道メーター整備費	28,070	29,398	0	0	0	0	0	0	29,398
19 (3) 管路緊急改善事業	550,000	605,000	215,000	0	0	183,333	152,800	0	53,867
20 (4) 重要給水施設配水管整備事業	0	55,000	34,000	0	0	12,500	0	0	8,500
21 (5) 事務費(職員給与費)	44,148	42,653	0	0	0	0	360	0	42,293
22 (6) 事務費(その他)	992	963	0	0	0	0	0	0	963
23 (7) 共同施行負担金	1,100	0	0	0	0	0	0	0	0
24 企業債償還金	828,695	771,000	0	0	0	0	39,331	0	731,669
25 建設改良費等の財源に充てるための企業債	827,179	769,826	0	0	0	0	38,157	0	731,669
26 その他の企業債	1,516	1,174	0	0	0	0	1,174	0	0

令和6年度 水道事業計画箇所図

配水管布設替事業

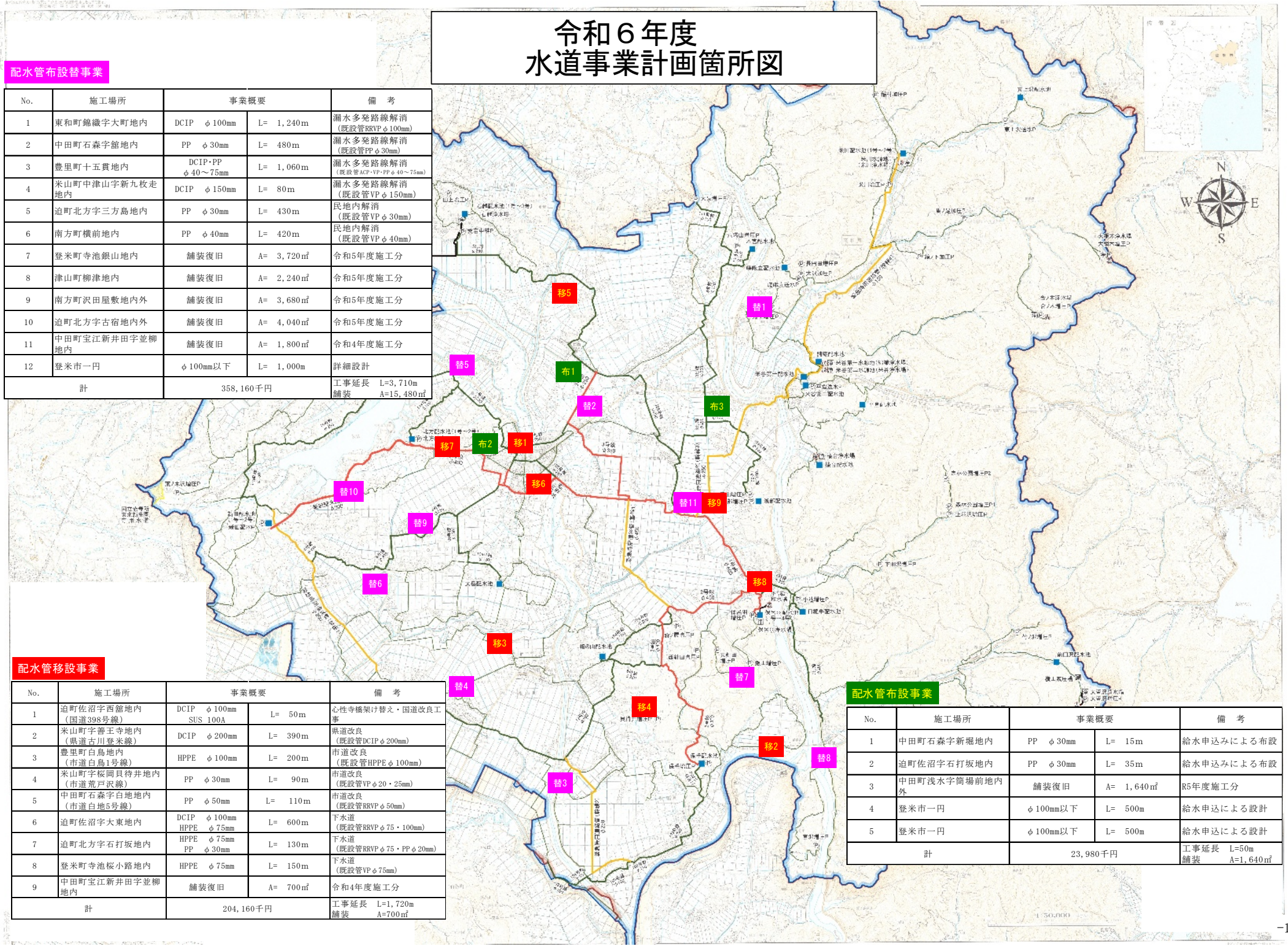
No.	施工場所	事業概要	備考
1	東和町錦織字大町地内	DCIP φ100mm L= 1,240m	漏水多発路線解消 (既設管RRVP φ100mm)
2	中田町石森字館地内	PP φ30mm L= 480m	漏水多発路線解消 (既設管PP φ30mm)
3	豊里町十五貫地内	DCIP>PP φ40~75mm L= 1,060m	漏水多発路線解消 (既設管ACP>VP>PP φ40~75mm)
4	米山町中津山字新九枚走地内	DCIP φ150mm L= 80m	漏水多発路線解消 (既設管VP φ150mm)
5	追町北方字三方島地内	PP φ30mm L= 430m	民地内解消 (既設管VP φ30mm)
6	南方町横前地内	PP φ40mm L= 420m	民地内解消 (既設管VP φ40mm)
7	登米町寺池銀山地内	舗装復旧 A= 3,720㎡	令和5年度施工分
8	津山町柳津地内	舗装復旧 A= 2,240㎡	令和5年度施工分
9	南方町沢田屋敷地内外	舗装復旧 A= 3,680㎡	令和5年度施工分
10	追町北方字古宿地内外	舗装復旧 A= 4,040㎡	令和5年度施工分
11	中田町宝江新井田字並柳地内	舗装復旧 A= 1,800㎡	令和4年度施工分
12	登米市一円	φ100mm以下 L= 1,000m	詳細設計
計		358,160千円	工事延長 L=3,710m 舗装 A=15,480㎡

配水管移設事業

No.	施工場所	事業概要	備考
1	追町佐沼字西館地内 (国道398号線)	DCIP φ100mm SUS 100A L= 50m	心性寺橋架け替え・国道改良工事
2	米山町字善工寺地内 (県道古川登米線)	DCIP φ200mm L= 390m	県道改良 (既設管DCIP φ200mm)
3	豊里町白島地内 (市道白島1号線)	HPPE φ100mm L= 200m	市道改良 (既設管HPPE φ100mm)
4	米山町字桜岡貝待井地内 (市道荒戸沢線)	PP φ30mm L= 90m	市道改良 (既設管VP φ20・25mm)
5	中田町石森字白地地内 (市道白地5号線)	PP φ50mm L= 110m	市道改良 (既設管RRVP φ50mm)
6	追町佐沼字大東地内	DCIP φ100mm HPPE φ75mm L= 600m	下水道 (既設管RRVP φ75・100mm)
7	追町北方字石打坂地内	HPPE φ75mm PP φ30mm L= 130m	下水道 (既設管RRVP φ75・PP φ20mm)
8	登米町寺池桜小路地内	HPPE φ75mm L= 150m	下水道 (既設管VP φ75mm)
9	中田町宝江新井田字並柳地内	舗装復旧 A= 700㎡	令和4年度施工分
計		204,160千円	工事延長 L=1,720m 舗装 A=700㎡

配水管布設事業

No.	施工場所	事業概要	備考
1	中田町石森字新堀地内	PP φ30mm L= 15m	給水申込みによる布設
2	追町佐沼字石打坂地内	PP φ30mm L= 35m	給水申込みによる布設
3	中田町浅水字筒場前地内外	舗装復旧 A= 1,640㎡	R5年度施工分
4	登米市一円	φ100mm以下 L= 500m	給水申込による設計
5	登米市一円	φ100mm以下 L= 500m	給水申込による設計
計		23,980千円	工事延長 L=50m 舗装 A=1,640㎡



令和6年度 水道事業計画箇所図

浄水施設整備事業

No.	施工場所	事業概要		備考
1	登米町寺池道場地内 (保呂羽浄水場)	液体クロマトグラフ	水質機器 1台	経年劣化
2	東和町米谷字大嶺地内 (錦織浄水場)	膜ろ過濁度計	濁度計 2台	経年劣化
3	東和町米谷字大嶺地内 (米谷浄水場)	2系送水ポンプ外	ポンプ 1台外	経年劣化
4	津山町横山字大萱沢地内 (大萱沢浄水場)	場内流入弁	流入弁 5基	経年劣化
5		テレスコープ外	テレスコープ 3台	経年劣化
計		67,210千円		

配給水施設機器整備費

No.	施工場所	事業概要		備考
1	市内一円	機器整備	給水メーター	更新
2	F7(豊里ブロック)	配水流量計(F7)	流量計 1台	経年劣化
3	津山町横山字伊貝地内 (伊貝ポンプ場)	増圧ポンプ	ポンプ 2台	経年劣化
4	津山町横山字野尻地内 (桑の沢配水池)	増圧ポンプ	ポンプ 1基	経年劣化
5	津山町横山字地志貝地内 (地志貝増圧ポンプ場)	増圧ポンプ	ポンプ 2台	経年劣化
計		43,368千円		

管路緊急改善事業

No.	施工場所	事業概要		備考
1	登米町寺池地内	DCIP φ700mm	L= 112m	40年以上の経年管更新 (既設DCIPφ700mm)
2	登米町寺池地内	DCIP φ700mm	L= 180m	40年以上の経年管更新 (既設DCIPφ700mm)
3	追町佐沼字新大東地内	DCIP φ500mm	L= 420m	40年以上の経年管更新 (既設DCIPφ500mm)
計		605,000千円		工事延長 L=712m

重要給水施設配水管事業

No.	施工場所	事業概要		備考
1	南方町新中山地内	DCIP φ100~150mm	L= 600m	耐震化 (既設管DCIP-BRPφ100~150mm)
2	南方町新中山地内	DCIP φ100~150mm	L= 1,457m	詳細設計
計		55,000千円		工事延長 L=600m

保呂羽浄水場再構築事業

No.	施工場所	事業概要	備考
1	登米町寺池道場地内 (保呂羽浄水場)	保呂羽浄水場再構築事業詳細設計業務	老朽化
2		保呂羽浄水場再構築事業工事	老朽化
3		保呂羽浄水場再構築事業工事監理等支援業務	老朽化
4		保呂羽浄水場再構築事業土壌分析	老朽化
計		645,775千円	

凡例	
行政区域	—
上水道給水区域	—
青山水道	—
池沢水(保水水・河川自流水)	—
伏流水	—
湧井戸	—
深井戸	—
浄水場	—
ポンプ	—
濾り器	—
配水池	—
導水管	—
主要配水管	—
緊急時用臨時管	—
一般配水管	—